

平成25年度「倉吉市特別支援リーダー育成研修会」

- 1 目的 発達障がい等配慮を要する児童生徒に対する応用行動分析の知識と技術を学び、問題行動に対して適切な対応ができ、特別支援教育に関する事例検討で指導や助言のできるリーダーを養成することを目的とする。
- 2 実施日 10月24日（木）13：00～16：45（第3回）
- 3 主催 倉吉市福祉保健部子ども家庭課 倉吉市教育委員会学校教育課
- 4 対象者 保育士、小中学校教諭
- 5 講師 井上 雅彦 氏
(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授)

6 内容

テーマ

「通常学級におけるグレーゾーンの児童生徒への対応」

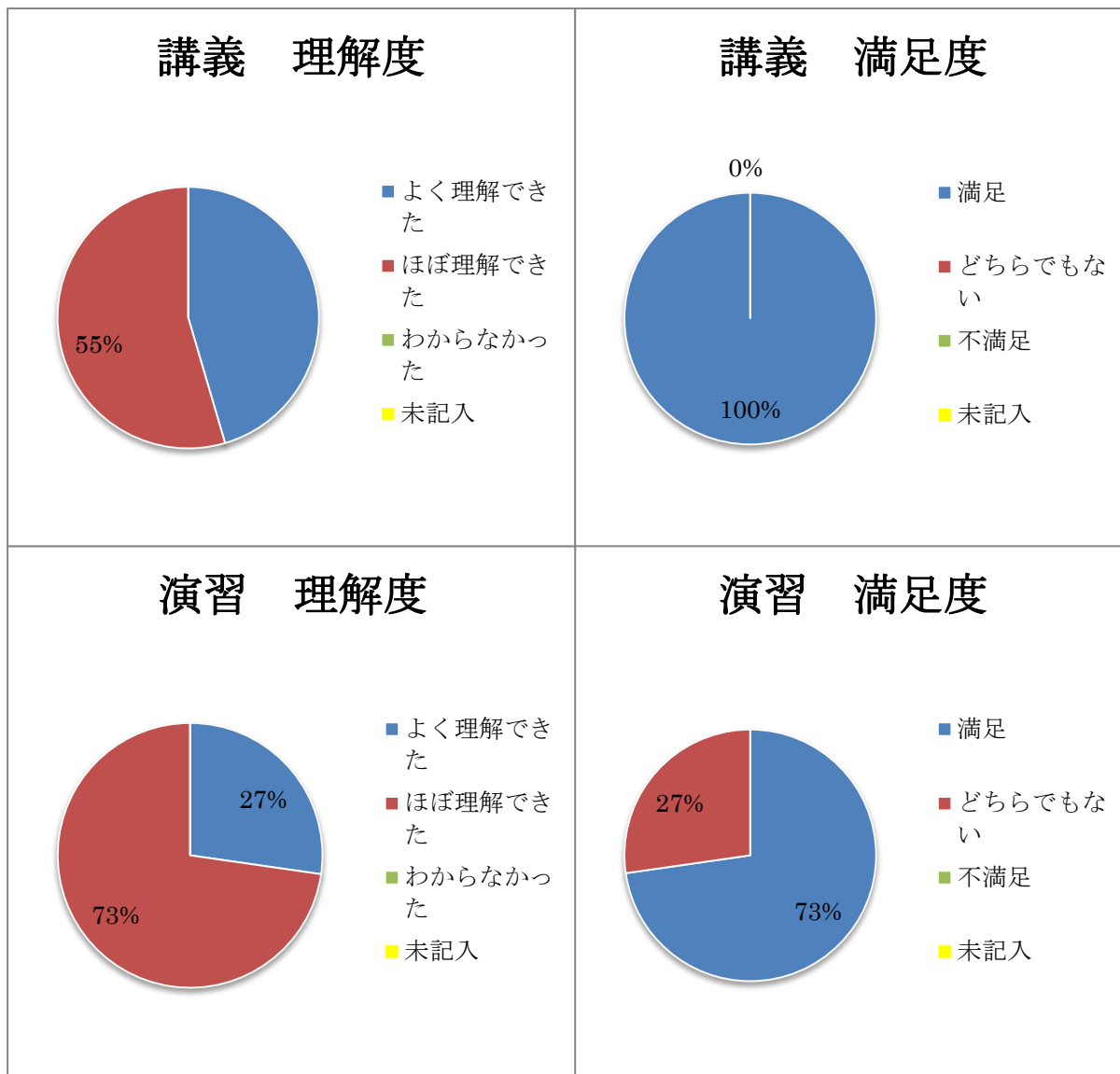
- ◆講義「通常学級におけるグレーゾーンの児童生徒への対応」
- ◆演習「授業振り返りシートの活用」
- ◆講評「各所属機関での実践についてのアドバイス」

通常学級におけるグレーゾーンの児童生徒への対応についての講義では、不登校・ひきこもり傾向のある児童生徒の「原因データ」と「学校での対応」や「家庭への支援」について事例をとおして理解を深めることができた。

また、演習では、通常学級での児童生徒の問題行動への対応について、単に当該児童生徒個人に向けてだけでなく、在籍学級の授業のあり方（担任の授業での指導法）を振り返ることからも解決の糸口があることを指導していただいた。自分の授業について客観的な評価を「授業振り返りチェックシート」で行い、教師用授業チェックシートに当てはめて、担任自身が児童生徒に理解されやすい授業になるよう改善を図ることも大切であることを学ぶことができた。



7 研修後のアンケート結果と感想



講義について

- 不登校の予防はやはり校内体制が大切だと感じた。チームでの取り組みが大切である。
- 多くの事例を見て、児童生徒が不登校にならないような園や学校からの支援や仲間づくりをしていかななくてはならないと感じた。
- 不登校児童生徒がずっと同じ状態で過ごしているのではなく、年齢があがるにつれて変容していくという期待感が持てた。
- 丁寧な保護者対応や児童生徒についての細かい情報がいかに大切かを感じた。

演習について

- 授業振り返りシートを、他のクラスでも取り組んでみたい。項目を見るだけでも、授業改善のアドバイスであり、自分の授業を振り返るきっかけになった。
- 保育園での活動を振り返るチェックシートを作る内容であった。保育士の指導のあり方を客観的に振り返る良いシートができればと思った。
- 実行度チェックシートとストラテジシートをペアでやると効果が明確になることがわかった。児童生徒への問題行動への対応についてはチームで取り組んでいきたい。